

東京白楊だより

vol.42

R01 8.31 (2019)

白楊ヶ丘同窓会東京支部

旧制函館中学校 函館中部高等学校

URLが変わりました

<http://kanchu.tokyo>

第42回親睦大会報告

函・中・人

第116期 吉田 麻希

第3回新人歓迎会

月島「もんじゃ焼き はなれ」にて

随想

「私とソフトテニス」 第67期 石橋信彦

「春のウルムチから」 第79期 菅原(秋谷)真奈美

なるほど! the TUBU

校歌誕生秘話

同期会だより

第68期 第71期 第72期 第77期 第79期

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には、お変わりなくお過ごしのこととお喜び申し上げます。また、日頃より、各方面のご支援とご協力に厚くお礼申し上げます。

役員の任期は規約で3年となっております。4月23日に開催されました評議員会で支部長・副支部長全員の再任を承認いただきました。引き続き3年間よろしくお願い致します。

本年度も東京支部の親睦大会は、11月9日（土）に、昨年と同様、グランドアーク半蔵門で開催の予定です。今回も、今年50歳の89期の皆さんが中心になって企画を詰めています。また、運営面でも、若手の層への働きかけなども積極的に行っていたいております。3月に母校を卒業された新卒者からベテランの先輩まで、会員の皆様のお元気な顔を拝見できる機会を楽しみにしております。

この50歳の幹事期は、関東在住者を中心に、毎回、多くの同期メンバーが駆けつけてくれます。何よりも幹事期の皆さん自身が楽しく取り組み、同期メンバーをどんどん誘いたいと思うような会にしていただけだと思います。その活躍を実際に見て、現在、学生の皆さんも30年後、50歳前後になりましたら、中心を担っていただけるものと期待しています。

役員一同、今後も同窓会の一層の発展に努力して参ります。引き続き、皆様のご指導、ご協力並びにご支援をお願いしまして、ご挨拶とさせていただきます。



白楊ヶ丘同窓会東京支部長

第76期 昭和49年卒

白川 正広





白楊魂チャレンジ

北海道函館中部高等学校 第39代校長 田尻勝敏



白川支部長をはじめとする白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様には日頃より本校の振興と教育活動へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。この度の第四十三回白楊ヶ丘同窓会東京支部親睦大会のご盛会を心からお慶び申し上げます。

函中グランドデザイン

本校においても学校改善に係るプロジェクトチームやワーキンググループを立ち上げ、「白楊魂」「自主・自立」といった

函中生が受け継いできたものを大切にし、学校の目指す方向性を示す「函中グランドデザイン」を作成しました。そして、今年度から学校教育目標を「高い志をもち、次代を創造する人間の育成」としました。さらに、身に付けるべき資質・能力を

白楊魂チャレンジ

の向上を目指す授業、達成感を感じる行事、将来にもつながる関係性を築く部活動などすべての教育活動を大切にして取り組んで参ります。

私たちは、これを「白楊魂チャレンジ」と名付け、大切にされてきた「白楊魂」を「高きを望んで止まざる向上心。大地に根を張る生命力。逞しい成長力。」と再定義し、函中の伝統を重んじるとともに社会の動向を捉え、挑戦していきます。

令和の時代においても、道南の中心校として社会に有為な人材を送り出して参りたいと思えますので、同窓生の皆様にはこれから本校へのご支援を賜りますようお願い申し上げますとともに、白楊ヶ丘同窓会東京支部の益々のご発展と皆様のご健康を祈念申し上げます、ご挨拶いたします。

「Society5.0」に向けて

来たる新時代を表す

「Society5.0」という言葉が、よく聞かれるようになりました。その社会（サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合された人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会）では、「共通して求められる力の育成」「新たな社会を牽引する人材の育成」が求められており、それに対応し高等学校をはじめとする教育機関も改革を推し進めています。

Challenge!



第42回

親睦大会報告

白楊ヶ丘同窓会東京支部



幹事の88期

白楊ヶ丘同窓会東京支部、第42回親睦大会は2018年11月3日(土曜日)13時より、グラウンドアーク半蔵門にて盛大に行われました。
今大会の幹事は88期生。
「故郷を思い、気の知れた仲間と、美味しいお酒と音楽で笑顔あふれる同窓会」をコンセプトに企画、実行されました。

会場準備 10:50



会場設営

88期と理事会メンバーが集合し、会場の設営、受付準備を開始しました。
集まったスタッフの朝礼では、配布物整理、受付の準備、会場設営へと役割を班毎に分担しました。
展示物の展示、マイクテスト、イベントのリハーサル、ゲストの入場ルートの確認、そして、受付では名札の並べ替え、両替の準備等、来場される方々を迎えるため準備に追われました。

受付開始 12:30

同窓生が続々と来場、受付作業に追われました。

司会者挨拶 13:00



司会の岡部あさ子氏

定刻どおり開会。総合司会は78期岡部あさ子氏

開会宣言 13:05

白楊ヶ丘同窓会東京支部長76期の白川正広氏より開会宣言及びご挨拶。

同窓会歌斉唱 13:10

在学中、音楽部に在籍していた方々にご登壇いただき、ピアノ伴奏は、78期の島津路郎氏、歌唱リーダーは、105期の小林秀樹氏のリードで同窓会歌が斉唱されました。

来賓紹介 13:20



来賓ご挨拶

今回は各校同窓会の代表並びに中部高校の校長先生の合計10名のご参加をいただきました。来賓を代表して函館中部高校の田尻勝敏校長先生より挨拶をいただきました。



同窓会歌斉唱

乾杯



同窓会会長石井直樹様乾杯のご発声をいただき、歓談に移りました。

イベント

ここでイベントの司会にバトンタッチ。

イベントの司会は、88期の山田力氏と、同じく88期の内田佳織氏。

今年のイベントは、バリトン歌手の松本稔弘氏をお呼びして、ちよつとした声楽コンサートを企画いたしました。そして伴奏者には87期の岩崎由紀氏が同窓会のために一肌脱いでくれました。

コンサートプログラムは①大地と海 (Terra e mare)、②郷愁 (Nostalgia)、③荒城の月、④落葉松、⑤禁じられた音楽 (Musica Proibita)、⑥忘れな草 (Non ti scordar dime)、⑦私の太陽 (O sole mio) の計7曲！



バリトン歌手 松本稔弘氏

松本氏と岩崎氏の粋なMCを挿みながらプログラムは進行!! 会場の同窓生は老若男女を問わず、美味しいお酒も相まって、それぞれが故郷への想いや、学生時代の若かりし日に思いを馳せながら、素敵な音楽に酔いれました。ラストのオ・ソレ・ミオが歌い終わった瞬間、会場からはブラーヴォ!!と歓声も沸き、大いに盛り上がりしました。

インフォメーション

白川支部長より来年度発行の「白楊だより42号」の原稿の募集を行いました。

84期 今井雅子氏より絵の展示について、88期 菊地なぎさ氏

より「親睦大会の参加の記念として、昔懐かしい南部煎餅に、中部高校の校章と函館の夜景をプリントしてみました!もちろん食べられますので、お茶うけにどうぞ!」とお土産の南部煎餅についてインフォメーションがありました。



白楊だより 原稿の募集



今井雅子氏の絵の展示



校章と夜景の南部煎餅

新入会員の紹介

15:10



新入会員の紹介

平成29年卒119期の梅崎智之氏、瀬川烈矢氏、上貞冨氏の3名が壇上に上がり、全員から挨拶がありました。

次期幹事のご紹介

15:15

次期の幹事期である89期を代表して汐見和人氏から挨拶がありました。



次期幹事の89期代表挨拶

校歌斉唱と三本締め

15:20

恒例の校歌斉唱は、今回のイベントを企画した幹事期である88

期の皆さんと、来年度の企画を担っていただく89期の皆さんが登壇し、声高らかに斉唱されました。その後、幹事期である88期の代表、村田雅彦の音頭で三本締めとなり、午後3時半に閉会となりました。



三本締め

今回の親睦大会運営にご協力いただきました、理事会・評議員会メンバー、各期有志の皆様は、厚く御礼申し上げます。

また当日運営に関するものは反省改善してまいります。今後更に大先輩から若い期の皆様が多く有意義となる親睦大会を企画していきたいと考えております。今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。

(村田雅彦 第88期)



第42回 親睦大会出席者一覧 (敬称略)

平成30年11月3日(土) グランドアーク半蔵門

来 賓

函館中部高等学校 校長	田尻勝敏	函館東高等学校 関東青雲同窓会 幹事長	土肥健作
白楊ヶ丘同窓会 会長	石井直樹	函館東高等学校 関東青雲同窓会 副幹事長	辻峰子
白楊ヶ丘同窓会札幌支部 支部長	黒田信彦	函館商業高等学校 東京函商同窓会 会長	道下佳拓
白楊ヶ丘同窓会関西支部 事務局	山川泰宏	函館工業高等学校同窓会関東支部 事務局長	澤出重雄
函館西高等学校 つばしヶ丘同窓会東京支部 会長	佐々木太郎	函館ラ・サール学園同窓会東京支部 副支部長	多田哲郎

第43期 昭和16年卒	葛西善一郎
第54期 昭和27年卒	松田守正
第55期 昭和28年卒	香西慧
第57期 昭和30年卒	川口千代/小竹嘉子/櫻庭晃 鈴木幸子/村嶋泰子/吉田精吾
第58期 昭和31年卒	近藤好介/永野巖/藤原正樹/ 山本善治
第61期 昭和34年卒	大久保泰宏/岡本興/ 佐々木住明/長尾邦充/ 藤田美穂子/三上和子
第62期 昭和35年卒	石原雄一郎/大味勲/幅敏暢
第63期 昭和36年卒	小野武司/土橋道子/中野陽子/ 中村崇/橋本祐子/山崎良英/ 依田洋次
第64期 昭和37年卒	上田健司/大原淳一/佐々木京子
第66期 昭和39年卒	石塚昌子
第67期 昭和40年卒	加賀幸彦/菊池憲子/相馬研二/ 高木隆弘/松田幹夫/安田康次/ 山崎徹
第68期 昭和41年卒	大河原綾子/木戸正文/小林眞哉/ 白崎淳一郎/相馬亮/竹田美雄/ 田中恵子/山本晴義
第69期 昭和42年卒	伊東英一/梅田五郎/梅田やよい/ 江澤富士代/奥野政博/ 瀬戸武一/渡辺敏正
第70期 昭和43年卒	石黒秀喜/佐藤勝義/高橋裕司
第71期 昭和44年卒	加納元雄/川村哲雄/佐藤元嗣/ 成田秀信
第72期 昭和45年卒	池田英一/大森もと子/小林繁治/ 笹川浩史/佐野香苗/古旗邦夫/ 松本浩/村田秀樹/渡部敏雄
第73期 昭和46年卒	小野田和子/山田朗
第75期 昭和48年卒	金丸洋一/桑原洋子/佐々木正子/ 増田博幸
第76期 昭和49年卒	白川正広/鈴木博志/曾我正彦 高崎美也子/高野勝弘
第78期 昭和51年卒	岡部あさ子/垣坂清/柴山智恵子/ 島津路郎/下村次郎/斯波宇司/ 塚本良子/津田喜美子/長澤一徳/ 成田吉道/松田司/宮崎恒春/ 山内清美

第79期 昭和52年卒	小西眞由美/樋口澄則/ 福島陽子
第80期 昭和53年卒	齊藤聡
第81期 昭和54年卒	渡辺由美子
第82期 昭和55年卒	佐藤元紀/清水真/中山千夏子
第83期 昭和56年卒	田口志保/端博幸/板東正樹
第84期 昭和57年卒	今井雅子/江原みちな
第85期 昭和58年卒	岩淵薫子/加戸茂樹/幡谷恵/ 柳川清尊
第87期 昭和60年卒	阿部文快/荒谷修司/池田智之/ 岩崎由紀/岩本美雪/熊谷志麻/ 佐々木恵子/末永健/鈴木泰仁/ 高橋正人/津越敬寿/星川佳寛/ 松本篤史/渡辺岳夫
第88期 昭和61年卒	池田恵理子/伊多波宏之/ 内田佳織/大田真佐美/ 川守田正也/菊地なぎさ/ 菊地陽子/小島和代/ 佐鳥麻紀子/佐藤恭代/代田香/ 田中亜津子/橋山智訓/ 蓮尾直子/馬場達志/ 平方奈津子/溝江義一/ 村田雅彦/山田力/吉浦紀晃/ 若佐紀充
第89期 昭和62年卒	越前屋薫/大野あゆみ/ 長内智佳子/小野寺史子/ 川上楠平/木村満城/桐山啓子/ 小島茂雄/齋藤雅宏/汐見和人/ 松田恭幸/森地幸恵/山本代美/ 山本理香/米山理代
第90期 昭和63年卒	鹿野祥子
第94期 平成4年卒	荻野真輔
第96期 平成6年卒	今田光信/長谷川賢幸
第97期 平成7年卒	田澤琴美/野村武史
第105期 平成15年卒	小林秀輝
第119期 平成29年卒	上貞冨/梅崎智之/瀬川烈矢

出席者合計 182名
(来賓10名、一般172名)



映画監督

吉田 麻希

M AKI Y OSHIDA

H7.7.18生 (1995.7.18) 24歳
H26.3月卒業 (116期)

・担任：
二瓶先生 (1年生時)
紺野先生 (2年生時)
小野先生 (3年生時)

・部活動：放送局
(顧問は白鳥先生)
・出身中学：厚沢部中学校
・新潟大学法学部4年生 (休学中)

■映画監督を目指すことになったのは何故ですか？

子供のころから映画を観るのが大好きで、田舎住まいだったので娯楽らしいものがなく、暇さえあれば映画ばかり観ていました。

新潟大学に進学後、映画を観る倶楽部だと思って気軽に入部した映画倶楽部が、実は「映画制作もする」サークルで、活動を通し徐々に楽しさにハマっていききましたね。

■今まで制作に携わった映画について教えてください

監督として携わったのは、

2014年「グッドバイ、クリスマス」、2015年「イノチ短かし恋せよ乙女」、2016年「ラッキーパーソン」、2018年「パンクロックベイビー」です。「ラッキーパーソン」は、漫画家の故手塚治虫先生のご長男でありビジュアリストの手塚眞さんに監修いただいた作品です。

「パンクロックベイビー」は新潟県外の映画祭に初めて出品した「初期衝動」がテーマの青春映画です。脚本も自分で書き、キャスト、エキストラ集めに至るまですべてに携わり、新潟中をワゴン車で走り回って撮影しながら制作しました。曲も新潟のバンドから提供して頂きました。

た。ライブのシーンは新潟のライブハウスを借りて、たくさんエキストラにも来てもらって撮影しました。オール新潟で作りに上げた、とても思い出深い作品になりました。

また、2017年には佐渡を舞台にした、富名哲也監督の「Blue wind blows」の制作スタッフとして携わりました。この作品は後にベルリン国際映画祭に正式招待上映されました。



映画は光に愛を詰め込む仕事

■映画監督ってどんなお仕事ですか？

「映画は、光で描いた絵であり、監督は、その光に愛を詰め込む仕事」だと思っていますし、そこにロマンを感じます。作りたい

い作品も《愛》だと思うし、役者やスタッフをキャストイングするのもまた《愛》。使う音楽もまた然りです。自分の感じたあらゆるものが詰まったものが映画作品だと思います。

■映画を制作するうえでの失敗談について教えてください

撮影で猫を貸していただいたんですが、言うことを聞かないんです。絵コンテも書き、決められた日数で撮り上げなくちゃいけないんですが全く思ったとおりに動いてくれない。仕方ないので、カバンの中に猫がいることにして、あとからアフレコで声をつけてということにしました。

現場は失敗とリカバリーの連続ですね。逆にそういうことのひとつが制作するうえでの醍醐味になっています。いつも役者やスタッフに助けていただいています。感謝しかありません。

■どういう映画が好きですか？

基本、一日一本映画を観ていますが、ロード・オブ・ザ・リングは通算で700回位観ましたので、回数的にはこれが一番です。エオウィンというキャラクターの「なぜ女性が戦わないんだ！」のシーンが好きで、人間がたくましく生きている姿に憧

れていました。
作品的にはエターナル・サンシャインが一番好きです。この作品で映像の無限さを知りました。



シネ・ウインドでは会員有志が中心となって、上映作品が選定される

■函館を舞台に映画を撮るとしたらどんな映画を撮りたいですか？

函館出身の作家、佐藤泰志さんの「函館三部作」と言われる映画も全部観ましたが、監督は函館出身者ではないからか、どうもしっくり来ないんです。東京視点で撮られているという感じがします。私なら若者にスポットをあて、函館で生きていくうえでの狭さとか窮屈さを撮ってみたいですね。

■新潟での生活についてはいかがですか？

高校を卒業後、将来はジャーナリストになりたいと新潟大学法学部に進学しましたが、2017年の冬から休学中です。単位は取っていて、あとは卒業論文だけ出せば卒業できるんですが、急いで卒業して社会人になる必要性を感じませんでしたし、ちょうど「パンクロックベイビー」の制作で手一杯で論文が書けなかったというのがあります。

1年の時からここ、「新潟・市民映画館シネ・ウインド」でアルバイトをさせていただき、世代を問わず映画や音楽、演劇が好きの人とのつながりができ、自分の居場所となっています。身寄りの無い新潟で生活する中で、ここには随分と救っていただきました。

また新潟は、ここに行けばこういう人たちに会えるというのが分かりやすく、風通しが良いところか懐が深いところが好きですね。また遅く、生き方のアイディアを持っている人がいる街という印象もあります。

■将来の夢について

死ぬまで映画は作り続けたいですね。ここ新潟を拠点に映画を作り、

「日本映画」とは一線を画す「新潟映画」を世界に発信していきたい。

脚本術の話になりますが、常に再現性のある新しい方法を試していくことが、自分が長く映画を作り続けることにつながっていくだろうと考えています。



シネ・ウインドには会員有志から寄贈された映画関連の雑誌がびっしり



シネ・ウインド齋藤代表と吉田さん

監督作短編コメディ映画『ラッキーパーソン』

(20分 監修/手塚眞)

ダイジェスト

本編



〈あらすじ〉

同じ日を何度も繰り返す主人公は猫を探す少女に出会い仲を深めていくが、仲を深めれば深める程、主人公の親友は事故に合うたり重傷を負ったり容態がひどくなっていく。主人公は猫を無事見つけ出し事故から親友を救うことができるのか？

監督作中編青春映画『パンクロックベイビー』

(40分 監修/手塚眞)

ダイジェスト

本編



〈あらすじ〉

自分のやりたい音楽に悩む女子高生のミナミは、映画監督を目指す男子高校生シマノに出会う。シマノと一緒に映画を撮っていく中で、我が道を進む孤高な姿に理想を重ねていくミナミだったが...

〈インタビューを終えて〉

黒澤明、深作欣二、山田洋次：映画監督といえば、男性でしかも人生経験豊富な御仁を想像してしまいます。しかし考えてみると、今時の子は生まれた頃から当たり前のように家にビデオデッキがあり、レンタルビデオ店があり、更にはインターネットの普及で、観たい映画がいつでも観られます。撮影機器も高機能なハンディカメラも割と安価に手に入ります。

SNSの普及で俳優志望の方とも簡単につながることができるよう。あとは自分の感性を信じて一歩前に踏み出すことかと思えます。若くして一生やり続けたい仕事に巡り合うなんて少し羨ましいなと思いました。

映画監督という立場が人を育ててくれることを信じ撮り続けて欲しいと思います。頑張れ！

(荒谷修司 第87期)



第3回 新人歓迎会

月島もんじゃ焼き はなれ

日時：2019年6月9日（日）11時00分～14時15分

会費：学生1000円、学生以外は5000円

開会挨拶・乾杯：白川支部長 閉会挨拶：松永副支部長

司会進行：桐山啓子（89期）

写真：鹿毛 正之（87期）

60期	水江 彰一	89期	山本 代美	89期	山登 正文
71期	加納 元雄	89期	木村 満城	89期	宇田川 涼
73期	山田 朗	89期	米山 理代	90期	鹿野 祥子
76期	白川 正広	89期	越前屋 薫	90期	新井 久仁子
76期	高野 勝弘	89期	大野 あゆみ	96期	長谷川 賢幸
81期	松永 久	89期	沼口 健二郎	96期	今田 光信
81期	渡辺 由美子	89期	齋藤 雅宏	97期	野村 武史
87期	津越 敬寿	89期	長尾 真人	108期	山本 晃平
87期	荒谷 修司	89期	汐見 和人	119期	瀬川 烈矢
87期	鹿毛 正之	89期	桐山 啓子	119期	梅崎 智之
87期	池田 智之	89期	山本 理香	120期	丸山 大夢
87期	渡辺 岳夫	89期	高橋 正彦	121期	本間 涼太

参加者合計36名 ご寄付（63期土橋様他有志ご一同様/78期岡部）



エイジシュート
（78歳：アウト39、
イン39 トータル78）を
達成した水江先生



大当たり！



6月9日（日）梅雨入りしたばかりの東京は月島「もんじゃ焼き はなれ」にて、2019年度新人歓迎会が行われました。

参加メンバーは、今年3月に卒業したばかりの121期から最年長は60期までの総勢36名。支部長の白川正広さん（76期）による乾杯からスタート。テーブルごとに好みのもんじゃ焼きや焼きそばを頬張りながら、途中最年長である水江彰一先生（60期）より「同窓会の繋がりは本当にいいもの」とスピーチを頂くなど、お店丸ごと貸切りということもあり、終始アットホームな雰囲気になりました。会一番の盛り上がりを見せたのは、大ビンゴ大会。幹事期の89期が、30年以上前の自身が上京したときの気持ちを必死で思い出しながらセレクトした、12の賞品。新人歓迎会スペシャル賞「初めてのデートで使ってね！ディズニー OneDay ペアチケット」は、見事（無事？）121期の本間涼太さんが引き当てました。

その他「ラッキーピエロ」Tシャツや「焼きそば弁当」1ダースなど、函館を思い出す品々も。リーチが近づくと学生にカードを譲る先輩の姿もあり、「やっぱり中部っていいな」と感じる時間になりました。副支部長の松永久さん（81期）より閉会の言葉を頂き、月島の路地裏にて全員で記念撮影。18歳～79歳が一同に集うのも同窓会ならではの、今年もまた、同じ学び舎で青春を過ごした仲間が増えたことがとても嬉しく感じられる一日でした。

桐山（塚原）啓子 89期 記

随想

私とソフトテニス

67期 石橋信彦

的場中入学と同時にテニス部に入り中部高でも続けました。6年間のクラブ活動は、監督、コーチがいらない中、生徒同士で工夫して練習しました。自主的に活動していたので辛いと思っただけではありませんでした。同期で卒業後私一人だけが大学の体育会クラブに入部しテニスを続けました。そこは高校のクラブ活動とは全く違っていて、幹部が決めたメニュー通りに毎日練習が組まれ日曜日にも応援や大会の参加で休めない日が多く、コート整備、球拾いは一年生の仕事など上級生、下級生の役割分担と上下関係も厳しいものでした。他の部員に聞くと高校でも同じように厳しかったと聞き、驚きました。クラブの一員として付いてゆくのは他の部員より時間がかかりました。但し自分らで工夫して練習してきた中部高の技量は、コーチに叩き込まれてきた他の同期の技量にけっ

して見劣りしていたとは思いませんでした。

卒業後も大学のOB会でプレイし現在千葉県柏市ソフトテニス連盟の運営に携わっています。今の中学、高校では事故が起きた時の責任が問われるため顧問の先生がついていないと練習ができないので、中学、高校時代に私たちが体験した生徒だけに練習することを、今の子供たちは出来なくなりました。顧問になる先生もソフトテニス未経験者が多く、教える人がいないと生徒だけでは練習が出来ないかと、連盟が依頼を受けてボランティアでコーチを派遣しています。

少子化と相まってスポーツ競技の多様化でソフトテニスの競技人口は若年層で減少していますが、シニアクラスでは盛んです。年齢に応じて楽しめるスポーツとして5歳刻みで80歳の部まで各地で大会が開催されます。私も毎年全日本シニア大会に出場し全国に散らばっている高校、大学時代の先輩後輩に会って酒を

酌み交わすのが楽しみです。

写真は昭和40年卒業写真から67期のメンバーと顧問の先生です。追記：白楊ヶ丘同窓会東京支部の支部長は、61期金子公彦氏、67期安田康次氏、現在の76期白川正広氏と、テニス部OBが活躍されています。



株式会社イコー建設

一級建築士事務所

代表取締役 佐藤 一廣 (69期)

〒165-0033東京都中野区若宮1-28-1 野方会館2F
 電話：03 (3223) 0168(代) FAX：03 (3223) 0658
 mail:k-sato@f-rn.co.jp



行政書士白川事務所

代表 白川正広 (76期)

<https://www.shirakawamasa-office.com/>

紙面への広告募集!!

「東京白楊だより」第43号・2020年8月発行予定

お問い合わせ・申し込みは kancyujp@yahoo.co.jp

砂町眼科

院長 葛西浩 (73期)

<http://www.sunamachi-ganka.jp/>

茗荷谷かさい眼科

MYOGADANI KASAI EYE CLINIC

<http://myo-kasai-ganka.jp/>



火焰山の観光ラクダ

春の乌鲁木齐 (ウルムチ) から

第79期 菅原(秋谷)真奈美

出立

夫が定年後の継続雇用で働き出して四ヶ月後、「駄目で元々。新しい場所で仕事をしたいと思う。一緒に行ってくれる？」と相談がありました。

北海道で暮らす高齢の義母、順調とは言い難い日々を送る息子達…と気掛かりはありましたが、還暦を迎えた夫に異なるお国柄の地で单身生活をさせる事が心配であり、また私にとっても興味深い体験があるのかもしれないと思い、夫の選択に同意しました。

「シルクロードだね。」「最内陸の街、遠いね。」と言う三人息子達に「何かあったらよろしく。」とあれこれ頼めたのも私には幸いでした。

準備の途中、夫の体調悪化もありましたが、予定より遅れた手続きが完了し二人でウルムチへ発ったのは、神奈川で就職する次男を小倉駅で見送った翌日でした。

上海、蘭州経由の十三時間ほどの旅で深夜のウルムチ空港に

無事到着し、出迎えの会社の方達と対面した時は、疲れと緊張の中に安堵感が広がったのを覚えています。



ウルムチに来て1週間目、2017年11月30日。健康診断帰りによった大バザールで。とても寒い日。

砂漠の街

一九五五年に自治区となった新疆维吾尔自治区(ウイグル)自治区は中国最大の面積、百六十六万平方キロメートルを持ち、中国国土の六分の一を占めている事もこちらに来てから知りました。人の居住に適さない砂漠と山脈がかなりあるものの、そんなに広いんだ…と自分の認識不足のあれこれを恥じるばかりです。首府のウルムチは西域地区の拠点として開発が進められ大きく発展を遂げた新疆最大の都市です。

内陸性乾燥気候で気温の年較

差が大きく、知る限りでは最高気温三十八度、最低気温マイナス三十四度がありました。厳しい寒さの為かカラス・蟬が全くいません。降雨量が少なく二ヶ月以上雨が降らない日が続いた事もあります。十一月半ばから時折降る雪は気温の低下が進むにつれ、とても細かい氷の粒になって行きます。ひらひらと舞う雪ではなく、シャラシャラと落ちて来るとい感じです。手で受け止めて見ると結晶の様子がはっきり分かります。

晴天が続く夏の湿度は低く、皆さん水分補給を心掛け、西瓜も大好きです。地域集中暖房が入る冬の室内乾燥も強く、肌や就寝中の喉を痛めてしまう事を痛感しました。雷・台風はありませんが、日中の砂嵐は二、三度経験しました。大気質は危険数値を示していました。

日本との時差はマイナス一時間です。北京時間に中国国内は統一されているので、北京から西へ二千四百キロメートル離れていても、です。なので時計の時刻と冬の朝の暗さ、春から夏の夜の明るさが未だに自分に違和感を感じさせます。

…続きはFBで！





中国、新疆ウイグル自治区中央部、ジュンガル（準噶爾）盆地南部のオアシスの町で、自治区の主都。ウルムチとはモンゴル語で「美しい牧場」の意。古来、天山北路の要地で8世紀初めに唐は北東のジムサル（吉木薩爾）に北庭都護府をおき、ここを庭州輪台県とし税関を設けた。その後、遊牧民族の支配を経て1763年（乾隆28）清が迪化（てきか）城をおき、1882年（光緒8）新疆省設立の際に省都となった。新中国成立後、1955年自治区主都として「教え導く」という意味の迪化を廃してウルムチを市名とし、市域の整備・拡張をおこない、自治区の政経・文化の中心都市に発展した。

出展：「世界大百科事典第2版」より

私達七十九期が高校を卒業して三年後、1980年に放送された日中共同制作によるNHK特集「シルクロード」は私にも未知の世界と初めて触れた驚きを残しました。耳に刻まれた喜多郎のテーマ曲、石坂浩二の語り、砂色に煙る人々や風景。



夕焼けが反射してピンク色に染まるボゴタ峰



サモサ店の店先



火焰山の記念撮影待ちウイグル族衣装の女性達



朝の解放北路 エイティガール広場に向かうラクダと馬

**2020年は卒業50周年！
あれから半世紀、みんな元気かい？**

**72期（1970年卒）東京同期会「東京さつき会」は
毎年5月第3土曜日に開催！**

来年は・・・ 2020年5月16日（土）です

72期東京同期会（東京さつき会）

（広告協賛）渡部総合法律事務所 新宿御苑前 電話03-3355-5415(代)



まさに”流転の相“!? 校歌誕生秘話

その古風な歌詞と独特のリズムで親しまれる校歌は、本校に勤務されていたお二人の教諭により書かれたもの。その誕生や歌詞に歌われる光景、新たに改訂された最新の楽譜について3人の卒業生が解き明かしてくれました。



入学式での校歌の披露
本校の公式サイトでは合唱データを聴取できる。

函館中部高等学校校歌

作詞 藤原直樹

作曲 酒井武雄

火柱のはためく峰も
年古りて緑の臥牛
宇賀の浦風の砂山
波寄せてくずれ流るる
見よや物なべて移ろう
窮みなし流転の相

北の国雪深けれど
その底に草はめぐめり
野山荒れ鳥ひそめども
やがて来ん春の光に
万象の蘇る見よ
こゝにあり不滅の生命

白楊のさやめく丘辺
秋深き梢仰げば
冴え渡る銀河の彼方
幽けくぞ星雲燃ゆる
胸に満つ久遠の思い
遥かなり真理の彼岸

限りなき流転の中に
生命あり不壊の学舎
聞けや今窓の外遠く
新潮の入り来るひびき
よしさらば若人我等
踏まんな希望の門途
踏まんな希望の門途

校歌誕生雑話

58期 藤原正樹

私は中部高校の国漢教師を務めた藤原直樹の長男で、昭和31年卒。遠い記憶を呼び起こし、一文を草した次第である。昭和25年、新教育の理念に従って男女共学に踏み切り、その折に旧制函館中学校の校歌では時代にそぐわないとして新校歌を制定しようということになった。たしかに旧校歌の「嗚呼健児務めざらめや」では女生徒が歌うのに違和感がある。旧校歌は土井晩翠氏の作詞。しかし昭和25年といえは戦後の困窮期で余裕もなく、校内で制作しようということになったのであろう。

作詞の過程では父が幾度か母に感想、意見を求めていた記憶がある。ようやく出来上がった職員会議での審議では、歌詞がおとなし過ぎる、勇壮さに欠けるとの批判もあり、父親が帰宅後母にこぼしていたのを鮮明に覚えている。

だがいまこの校歌を聴くと文語調があり、おとなしいという感じはしない、どちらかというとやや古風な感じがしないでもない。やがてはこの校歌も古すぎるとして斬新な感覚の校歌が誕生するのであろう。

校歌に歌われた風景

59期 浜田鍊太郎

私は中部高校第59回生、現在年齢80歳を数えています。私が函中へ進学した頃は作詞の藤原直樹先生、作曲の酒井武雄先生ともに在職されていました。国語の藤原先生には、「火柱のはためく峰」は函館山である事を伺ったように記憶しています。

「風の砂山」は戦時中に砂鉄会社が掘り出したもので、少年時代にはその砂山に登ると綺麗な風紋が鮮やかに見られました。かの石川啄木も『初恋』にて砂山の砂に腹ばい…と詠んでいます。私が地方に就職して戻ってきた時にはほぼ全て消えており、シヨックを受けたものです。

三番に歌われる「白楊のさやめく」の白楊は、懐かしい木造校舎を取り囲むように太い幹に枝葉をつけ、函中のシンボルでした。こちらも洞爺丸台風でほぼその姿が失われ、残念です。

この歌詞は純朴な函中生に素直に受け入れられた記憶があります。作詞、作曲に携われたお二人の先生は新たなイメージを校歌に注ごうとされ、特別な思いで取り組まれたことが歌詞の内容やメロディに現れ今日に至っているものと思っています。



音楽部では「春の演奏会」で現役と卒業生の合同により校歌を合唱する。



音楽授業の選択者による発表会。
場所は本校1階の多目的生徒ホール。

楽譜の変遷と改訂

函館中部高校教諭 79期 山岸久生



作曲者の酒井武雄先生。函館合唱連盟の理事長なども歴任された。

校歌を作曲した祖父の酒井武雄が函館中部高校に勤務していたのは昭和22年〜42年の20年間です。母や叔父達からは非常に厳しく怖い人だったと聞いていますが、私は初孫だったためか、優しいお爺ちゃんという印象が強く残っています。長女だった母は祖父が中部で教えていた当時、学校祭と一緒に演奏したこともあったそうです。

祖父は作曲家の山田耕筰に学び、母校の愛宕中や潮見中（現青柳中）など市内近隣だけでなく、遠くは苫小牧までかなりの

数の校歌を作曲していました。ここ数年の統廃合で祖父の校歌がほとんど消えてしまっています。が、現在でも深堀中学校校歌が祖父の作曲です。他にもまだ何校も残っているはずです。

■三種類の楽譜が存在

学校要覧の沿革史には現校歌が披露されたのが昭和24年3月と記録されています。作曲したのは昭和22〜23年頃でしょう。母の話では、祖父は書き上げた校歌を母に聴かせて感想を求めたということです。

初めて聴いた人は、冒頭の同音連続と独特の付点リズムに驚くと思います。やっとな音が動いたと思つたらまた同じ音型。しかしその後の「宇賀の浦、風の砂山」で伸びやかで印象的な旋律が歌われます。アクセントの効いた力強い「見よや物」を経て、サビの「なべて移ろう 窮みなし」では最高音がけて低音から1オクターブ以上もダイナミツクに上昇します。おそらく祖父には、誰でも歌える歌いやすい曲という観念は微塵もなかったと思います。最低音から最高音まで11度にも及ぶ広い音域を使つて、気合満々で力強く変化に富んだ1曲の音楽として勝負しています。

私が中部高校に赴任した時に

驚いたのは、何種類もの楽譜が存在していること。そして和声学では禁則とされる平行5度を含む混声四部の楽譜があつて生徒はそれで歌っているというものでした。しかも伴奏譜と混声四部の楽譜は和声が合わないため、一緒に歌うと音がぶつかる所が何ヶ所かあるのです。後で知つたのですが、この混声四部の楽譜は祖父の後に中部の音楽教師を務められた大森清先生がア・カペラで編曲したものでした。あえて使用したという平行5度も含め、音楽部OBの話では大森先生本人が「これはア・カペラ用で伴奏とは合わないよ」と語っておられたそうです。

大森先生が亡くなつた後、後任の先生が退職されてから中部高校は音楽の専任教諭を置かず、別々に存在していたはずの伴奏譜とア・カペラ版合唱譜が、どこかの時点で一緒になつてしまったのだと思われまふ。

大森先生の合唱譜は歴史のある貴重な楽譜ですが、中部高校では入学式・卒業式はもちろん始業式や終業式でも校歌を歌いますし、白楊祭の合唱コンクールでは一年生の課題曲が校歌の1・4番（4番は混声四部）。

それなのに伴奏と合唱が合わないというのは具合が悪いものです。この先120周年記念式典

もあることだし、これはきちんと伴奏と合唱が調和するオーソドックスな楽譜を作る必要があります。そのために私はまず、祖父が書いた校歌の自筆譜を探しましたが、中部高校の3階にある「資料保存室」でも自筆譜は見つからず、代わりに大森先生が書いたと思われるきれいな筆写譜を見つけました。

私の知る限り、校歌の楽譜には二長調、変ホ長調、ホ長調の3つの調の楽譜が存在し、実際に歌われているのは変ホ長調ですが、学校要覧に掲載されている楽譜はホ長調です。しかし祖父の自筆譜が失われている以上、もはや何が正しいのかを知るすべがありません。でもわかつている誤りは、どこかで誰かが正さなければそのまま伝えられてしまいます。誰かがその作業をやるとしたら、その責任を負うことができるのは一族の血を引く者しかいないと思います。私が中部高校に赴任できたのは、亡き祖父がこの仕事をさせるために私を中部に呼び寄せたからかもしれません。

■楽譜の改訂に取りくむ

このような経緯から、作曲者の孫であることを勝手に理由にして、改訂版の楽譜を作成することにしました。まず伴奏譜で

明らかに音の誤りと思われる所を修正し、ハーモニの主要音で欠損している音を埋め、それを元に混声四部の楽譜を作り直しました。調性は広く親しまれている変ホ長調のままにして、ハーモニは大森先生の楽譜も一部参考にしながら標準的なものに近い形にしました。伝えられてきた楽譜を尊重しつつ、できるだけ個人の色が出ないようにしたつもりです。

結果的に伝承譜に比べるとありきたりの和音になってしまいましたがベストというわけではありません。しかし最も重要なのは「伴奏と合唱が合っている実用性の高い楽譜」ということで、創立120周年式典に間に合わせる事ができました。もちろん主旋律は一音符も変えていません。楽才のない私の仕事ですので、不十分ではありますが、意欲に免じてどうかご容赦いただきました。思います。

※楽譜とオリジナル原稿は、東京支部サイト

<http://kanchu.tokyo> 『校歌』のページで閲覧いただけます。



同期会だより

第68期よい会 木戸正文

毎年二回（一月と六月）首都圏在住者を中心として同期会を開催している。

新年会（一月十九日）はスカイツリーで新春の東京を眺望した後、近くの焼肉屋「すみ屋」で元気を付け一年を乗り切らんと企画。二十二名が参集してくれた。新春の土曜日なので展望台行エレベーターは五十分ほどの待ち時間。だが事前予約したので長蛇の列を横目に展望デッキへ、さらに展望回廊（四百五十M）へ。五時過ぎ、富士山に沈む夕日を眺めた後、新年会場へ向かう。

会場の「焼肉すみ屋」でA5ランク入りというコース料理を楽しみ、いつもの「だんだん良くなる五本締め」で中締めとした。

六月例会は九日・十日、竹田美雄君のセッティングで「逗子松汀園」で開催。当日、十八名が参集した。各自、近況報告が

あり、葉山牛ほかヤングコーンの焼き物など湘南の初夏の味を楽しんだ。中締め後、翌日所用のある及能、長崎、山本、丸山、乳井、竹田君が帰宅。

翌日は梅雨入り直後で生憎の雨。白崎、内藤、目黒君から車の提供を受け三浦半島をドライブした。目黒君の車は江の島でのヨットレース後立ち寄ったので屋根にレーザー級の艇を載せている。運転の三君には改めてお礼申し上げます。スタートは逗子岩殿寺、八百年前、頼朝、実朝、北条政子、後白河法皇などが参詣したと伝えられ、うつそうとした木々に囲まれた鄙びた寺であった。泉鏡花の「春昼」

「春昼後刻」で描かれたお寺のこと。次は浦賀へまわり、一八五三年ペリー提督の上陸地点を記念したペリー公園に立ち寄った。伊藤博文が揮毫した記念碑が建っていた。ちなみにペリー艦隊は翌年箱館に来港。

横須賀に戻り三笠公園内にある日露戦争時の戦艦「三笠」の艦内を見学した。雨が激しくな



ったので昼食予定の有名カレー店へ行くことを断念し、公園前のカレー屋へ入った。横須賀と言えば海軍カレーだが正直、うまくはなかった。昼食後、横須賀中央駅、JR横須賀駅でそれぞれ解散した。

年会費納入のお礼。昨年度の年会費納入者数について、我期が最多の三十三名でした。ご協力感謝申し上げます。



（追伸）七月二日、札幌で樋口隆士先生を囲む会が開かれ出席してきた。担任いただいた今井浩三、福地和憲、須藤親、田中英昭、淵沢泰明、木戸が出席（敬称略）。先生は九十歳になられ、足元が若干党東ない様子だが、お元気に「It's too late」など冗談を交えお話をされていた。今井君は今春から札幌に戻り、研究拠点を東大医科学研究所から北大に移したとのこと。また田中君が年内に新曲を発表するとのことである。

次回も来年一月・六月に例会を開催。ご案内はメールでお知らせします。木戸宛問合せ下さい。icb10806@nifty.com



第71期

加納元雄

今年の第71期は、卒業満50周年である。「入学50周年は函館でやったので、卒業50周年は函館と東京の中間の仙台で」などと口走ったこともあるのだが、雑用にかまけて具体化など1ヶ月も進まず、それにはお構いなしに、川村哲雄君（3組）が銀座ライオンビヤホールを昼間抑えてくれていて、今年は71期としては初めて昼呑みの同期会となった。それでも案内に「卒業50周年記念！」と謳ったのに応えてくれたのか、同期会には初参加の中村徳三君（8組）がはるばる大阪から来てくれ、また、50代から重い糖尿病と戦い続けている並川芳数君（4組）が、「戦友」の奥様同伴で来てくれて50年ぶりの再会を果たせ、恩師水江彰一先生（第60期）も加えて、総勢25名と近年にない盛会となった。

話題は、昨年11月に亡くなった桜井修次君（10組）のこと、未だ止まぬ仕事のこと、最近始めた農作業のことと、様々に飛んだが、メは水江先生のホールインワン。今年2月に39+39、78で見事達成されたらしく、たまたま同期会の直前に行われた「新人歓迎会」で幹事の89期



の皆さんが用意してくれたタスキを今日もご持参いただいたて、ご挨拶をお願いした。「何事も諦めずに継続すれば、目標はいつか達成できる。」との如何にも教育者らしい含蓄溢れる言葉を戴いて、それぞれの余生を過ごす糧になったことと思う。

り映えのしない出し物だが、代わり映えのしない、代わりようのないメンバーが元気にまた集まれたね、ということを確認したい方は、是非お集まりください。

その前に、水江先生にタスキをプレゼントした洒落っ気満載の89期が幹事をする親睦大会が11月9日に開催されます。この記事をお読みの方は、71期に限らず是非ご出席のほどを。私たち71期生が高校3年生の時に生まれた赤ん坊がどう育ったか、是非ご確認ください。

還暦の平成23年から毎年5月の第3土曜日開催に定例化した東京での同期会。9回目の今年も5月18日、アルカディア市ヶ谷の会場「伊吹」に54名（男性38名、女性16名）が参加、盛会で終えました。

進藤清貴君、苫小牧から福原和弘君、函館から塚田俊君、井上俊一君、能戸彰君の3名で5名が初参加してくれました。

開会前に全員の集合写真（過去盛り上がりすぎて中締め後の撮影を失念したことを反省）を撮影。歓談後、恒例となった幹事団企画のイベントがスタート。

今年は「昭和のショータイム」第一部はショートコント2題。最初は笹川浩史君作「ある日の幹事会」。その日は生憎の嵐、雷に感電した渡部君と池田君のキヤラが入れ替わり、打合せが進行する様子を披露、二人のキヤラを知っている同期の面々に大受け、熱演に拍手喝采の嵐。次は渡部敏雄君作「北の国から来た犯人（ホシ）」。犯人役の小林君が発する函館弁に、刑事役の渡部君が勘違いし取り調べが進行、最後はあたって死んだ社長長の死因が中氣のことで、犯人がシロだったことが判明し、刑事がズツコケ、アドリブも効いて函館弁を知っている観客から笑いの渦。実は演者は、恥ずかしいくない演技を目指し4月に入ってから週一ペースで練習、その都度脚本を手直した結果の披露、本番でのまずまずの反応に嬉しくホツとしました。

第二部は「昭和の歌声喫茶」。フォークソングを中心に21曲を厳選、歌集を作成し、参加者に配布。ギター伴奏は笹川君と津野義明君に活躍してもらいました。「あの素晴らしい愛をもう一度」からスタート、リクエストに応じ6曲を参加者全員で歌いました。フォークソングもナツメロになりましたが、青春時代のメロディーは半世紀経った

今も忘れないものです。その後、初参加者にスピーチしてもらい、小林繁治君の中締めで例会が終了了。

会場を近くの英国風パブ「HUB」に移し、20時から二次会がスタート。41名（男性31名、女性10名）が参加。例会だけでは飲み足りなかった、話し足りなかった、歌い足りなかった分を補うた、貴重な時間を過ごしました。その後、まだまだ元気の残っている面々はカラオケ店での三次会にくり出したようです。高額の旅費を負担し函館、札幌など遠方より参加してくださった11名のみなさん、ありがとうございますました。今回の例会に刺激されたのか、札幌からの参加者を中心に札幌在住者での同期会企画が進行中との情報も入ってきました。

さて、6月11日、新宿のスナック秋桜にて幹事団の反省会を実施。カラオケモニターにさつき会当日撮影のビデオを流し、真剣にチェックしました

が、演技に自画自賛、反省点なし参加者のみなさんの笑顔を見ていて来年も頑張ろうという気持ちになりました。その日のカラオケタイムの後は、来年の企画のことはすっかり忘れてしまい、全くの白紙状態です。来年は5月16日に開催、古希、卒業50年、



さつき会10年目と色々重なるので、なにか思い切った「さつき会」にしたいと思います。家族同伴とか？即却下ですね。アイデア、希望がありましたら事務局か幹事まで連絡ください。来年も初参加者、久々参加者も一緒に例会を楽しみましょう。

第77期

伴 孝子

いつぺえ きたで!

第77期 東京同期会開催報告

昨年、10月6日、54名もが集い、東京同期会を開催しました！
 昨年のこの誌面を見て、開催を知ったという方もあり、まずは本誌編集部の皆様と、第77期に声をかけてくださった各地の皆様にお礼申し上げます。ありがとうございます！

卒業以来、43年ぶりに表れた仲間達に大歓声があがりました。
 発起人は、久しく表れない方々に、特別に函館の香りあふれるスルメを添えて案内状を送り、それを受け取って参加を決めたという方々もいらつしやいました。「封を開け、あの香りがした途端に函館の街が目の前に広がり、行かねばなるまいと決意した。」とのこと、作戦は大成功です！ 郵送にぴったりサイズで香りが漏れないスルメを見つけるのは一苦労ありました！他の期の方にも、この手、おすすめします！



同期会当日、昼は、同期が経営する「船遊び みづは」の船に乗り、神田川・墨田川の特別コースをゆらゆらと楽しみ、オリピックパラリンピックにむけた施設や宿舎の建設ラッシュを見学しました。そしていよいよ、ギンザコアにて大パーティーの始まりです！ 1970年代のポップスが流れる中、懐かしい写真を楽しみ、一瞬で昔に戻ったような大騒ぎになりました。旧音楽部のリードで校歌を合唱。クライマックスは「函館賛歌」です。スクリーンのタイトルを見て「えっ？こんな歌、俺、知らねー」ととまどう声もチラホラ聞こえましたが、音楽が流れると「オー！○○の歌だ！」と歓声があがり、故郷の景色に目をウルウルさせながら、大声を張り上げました。

二次会、三次会もはじけ、年甲斐もなく、最後は午前2時とか3時とか…。

今年は、3年ぶりに9月7日(土)に函館で開催です！また、あつまるべえや！

2019年 第77期同期会
 9月7日(土) 19時
 函館市五稜郭町レストランaxis (アクシス) にて

お問合せ…米塚茂樹
 電話：0138-43-7200
 メール：shigeki@nsc.ncv.ne.jp

第79期

櫻井(近藤)さゆき

還暦同期会開催

2018年10月6日函館にて還暦同期会がありました。盛大に86名の参加でした。

事の始まりは、2年前の「新幹線で行く函館ツアー」です。二次会の最後に奈良君が発した「還暦記念は函館でやるぞー!」

でした。あの時集まったのが34名。今回は一生に一度の還暦とあって、倍の人数が集まりました。

東京組の一部は前夜祭から始まりました。羽田空港で搭乗前から乾杯！して来たメンバーは、



片山・桜・富田君。函館に到着後は丸井玄関集合で、先の3名に高島・小泉(宏)君と私が加わり、「函館に来たら、やっぱりイカでしょ!」と「いか清」さんへGO！
 コリコリ、透明、まだ動くイカにゴロも新鮮で、やっぱり美味しい??



皆満足で、幸せ。前夜祭で終わってもいいなあ。の発言も出る程に美味しい、楽しい前夜祭でした。

本番当日の10月6日は函館国際ホテルで16時開宴。

先ずは、アルコールの入る前に記念撮影です。タイミング良く現れた真っ赤なスカートの地原さんに、並んでいた皆から歓声が上がります。最前列の中央へ。総勢86名の笑顔となりました。



幹事代表對馬君の挨拶の後、この日を迎えられなかった亡き同期生に黙祷。司会は、プロの間さんで始まりました。

東京支部(小林さん)・札幌支部(細貝君)・函館支部(奈良君)のスピーチがあった中で小林さんからは「2年後には2度目の修学旅行に行きましょう」と発言がありました。この頃には自主的に歓談を始めていた方が多数(?)で聞き逃した方も多かった様です。
 聖子ちゃん、言っていましたよ！言った事は実現させる79期！2年後が楽しみです。

さて、公式に歓談です。先ずは3年の時のクラスの席です。自分のクラスメートは流石に分かるのですが、他のクラスでは顔を見ても名前が分からず。部活は判っても名前は：（笑）それでもあちこちで写真を撮ったり、乾杯したりと盛り上っています。

暫くすると幹事さんから「席替えします」の声です。「次は2年の時のクラスへ移動して下さい」となりました。今までに無い新企画です。

後で聞いたのですが、男子から「理系のクラスは3年では女子が少なくつまらない」との意見が出て、2年→1年と席替えをしようとなったそうです。なるほどですね（笑）

「クラスを忘れた方はステージに上がって下さい」で、いました、いました。

担任の名前を覚えていてクラス判明。おっ、こっちだぞ！と呼ばれて引き取られる（笑）

2年で私は7組です。2年の途中で転校した佐藤（健志）君が名簿を持って来ていて、片山君がメンバーをチェックすると、居るはずの松田さん、桃野さんが他のクラスでまったりしていました。エー、オイオイ！とすかさず呼びに行つて皆で記念写真を撮りました。



40数年経つて振り返ると学生時代には話していなかった人が殆どです。勿体なかったなあをつくづく思いました。これからでも、と話せて良かった。楽しかったです。

そろそろ閉会の頃、幹事の山野内さんが「皆さんとハグがしたい?」と言ひ出しました。「ハグが無理なら握手をしませんか?」と。3分間の制限付きで。奈良君からは、女子にはハグを拒否する権利があります。と優しい言葉がありました。が、男女共、一人でも多くの人とハグ（握手）をするべく移動しました。皆夢中で、誰一人としてこの時の写真は撮っていないと思います（笑）

3分間、短かつた〜憧れの彼氏・彼女とハグはできたかな?この日一番の盛り上りの後は、校歌斉唱で一次会はお開きとなりました。

二次会（ブルーポイント）へは、約70人で突入です。司会は2年前の同期会で好評だった片山君です。芸達者の多い79期は、歌もしつとり、ほっこりがつり聴かせてくれます。ノリノリの曲では踊る!!踊る!!



部活毎の歌もあつて、私達バレー部（対馬・武田・保科・古川・近藤）は「アタックゴロ」を歌いました。歌と話であつという間に11時です。二次会の締めは、79期の歌姫、小林さんと武藤さんと作曲家・歌手・ギタリストで薬剤師の水

島君による「卒業写真」でした。素晴らしいハモリに聞き惚れて、一同感動の内に二次会終了です。



まだ、名残惜しくて三次会へ。幾つかに別れて、私はシダックス組でした。

桜・岩島・柴田（敬）・水島・對馬・細貝・奈良君と増田・間・若生・小林・田中さんの面々。私は、奈良君にご指名を頂いて隣に座つて歌よりおしゃべりでした。12時半も回つて、台風接近を気にしながらそろそろ帰宅です。

楽しい時間は本当に過ぎるのが速いものですね。一次会の開宴から6時間もあつという間で、還暦という節目に集まってくれた皆に感謝です。まだまだこれから皆と繋がっていたいと思つた同期会でした。健康で、また集まりたいね。次は2年後の「2回目の修学旅行」かな?

76期東京地区同期会 （昭和49年卒業）

函館・札幌及び海外などから同期メンバー来訪の際に
同期の集まりをその都度開催します

「集まれるときに何度でも！」

ご連絡のつく同期メンバーにお知らせください

第71期東京地区同期会

七草会

第79期 1977年卒業

HPにて情報発信中

<http://chubu79.html.xdomain.jp/>

会員短信

平成30年8月以降の会費の払込票と
返信はがきのメッセージから



●白幡匡(S19年卒46期)
いつも古郷函館を思い出してなつかしく会報を拝読し、御会の役員の方々に感謝しております。

●多和田昭二(S19年卒46期)
小生の近況。加齢のための難聴、頻尿、視力減退：に弱っている所へこの暑気です。今の所はなんとか元気でいますが、涼気が待たれるこの頃です。盛会をお祈り申し上げます。

●渡辺保二(S19年卒46期)
90の半ば近くになりましたが、年相応に元気です。日常の買い物や医者通いが元気のもとかも知れません。

●堀田善和(S20年卒47期)
遠出難しく、今年も欠席致しますがご盛会を祈つて居ります。『白楊だより』楽しく読ませて頂いて居ります。(表紙の写真、素晴らしいですね)

●下河原修(S22年卒50期)
ご案内有難うございます。御盛会を祈つて居ります。

●小熊勇司(S25年卒52期)
体調不良 新潟の田舎から東京は遠くなりました。皆さん、お元気で。

●加藤和行(S25年卒52期)
私共52期『玄羊会』は総会を終了

し、函館、札幌、東京の3ブロック別に年2回支部会を開催しています。同窓会の御案内をいただいておりますが、欠席で申し訳ありません。

●山下二郎(S25年卒52期)
高校野球も100回。想えば戦後最初に函中が全国に出場。その報告会を屋内運動場で「浪商」に6-0で敗退、三振の山を平古場にやられた事「昨日の様に思い出されます。相変わらずテニスで遊んでおります。出席出来ませんが、盛会をお祈りしております。

●吉本忠郎(S26年卒53期)
敷居は高くなる一方で、申し訳なく思っています。

●若林省吾(S26年卒53期)
歩きが良くないので欠席します。いつも御連絡有難うございます。

●遠藤宏(S27年卒54期)
連絡が遅れ申し訳ありません。体調不良のため、今回は欠席します。貴会の益々のご盛会をお祈り申し上げます。

●及能正夫(S27年卒54期)
昭和9年生まれのお父様です。三井銀行に30年 福岡店、西南学院大に17年、男女ゼミ生300人います。亡4兄とも私が最後で函中5人

目です。東京総会には出席しておりませんが、五島軒には3、4回出席致しました。敗戦翌年4月入学。全員ヒドイ格好で裸足に下駄でした。高2年で地域制共学になりました。ご盛会を祈ります。

●小宮山恵三郎(S27年卒54期)
函館に関係する郷土史の史料を集中して読んで楽しみにしています。私は七飯小学校出身の汽車通でしたが、函館圏で懐かしい思い出が一杯語られています。当日は予定あり欠席します。

●赤澤高(S28年卒55期)
体調、いまひとつ。来年はきつと良くなるよ！今回は自重し残念ながら欠席します。盛会を祈ります。

●沼崎茂子(S29年卒56期)
白楊だより、拝見いたしました。幹事の皆様御苦勞様です。今回も残念ですが欠席いたします。御連絡ありがとうございます。御盛会を祈ります。

●根上義昭(S29年卒56期)
現在、体の具合がよくありません。原口久江(S29年卒56期)何とか元気に暮らしております。いつもご連絡ありがとうございます。

●南卓夫(S29年卒56期)
案内ありがとうございます。申し訳ありませんが欠席します。御盛会をお祈りします。

●石塚武(S31年卒58期)
先約と重なり失礼します。傘寿を迎えましたが、大病もなく静かで

平穏な晩年を過ごしております。●越智馨(S31年卒58期)今年も御案内状有難うございます。行動範囲が家の近辺で、出席叶わず、それだけに白楊だよりを楽しみにしています。御盛会を祈ります。

●松岡悟(S31年卒58期)
80歳を過ぎ、体のあちこちのパーツに不具合が見つかり不調です。欠席にご理解を!!

●吉田繁司(S31年卒58期)
ご案内ありがとうございます。ご盛会をお祈りいたします。

●及川守(S32年卒59期)
脊柱管狭窄症の手術のため、当面姿勢制御困難になり、欠席します。

●桶直義(S32年卒59期)
幹事役、お世話様です。ご案内ありがとうございます。当日は先約あり失礼します。盛会をお祈りします。

●鏡原澄子(S32年卒59期)
いつも東京白楊だより御送付いただき有難うございます。

●小林重行(S32年卒59期)
多用と重なり欠席です。不悪

●飯田幸平(S33年卒60期)
益々の盛会を祈っております。

●岩淵安隆(S33年卒60期)
幹事ご苦勞さまでした。前年(2017年)に続いて、函中ミミ33会参加のため湯の川に3泊。会では元気の旧友と又の再会。そして、かつての自宅からの通学路を歩いたり、函館山から立待岬まで歩いたり、思い出深い旅になりました。

●上平慶一(S33年卒60期)
幹事の皆様のご尽力に感謝します。なんとか生活しております。

●佐藤大(S33年卒60期)
いつも白楊だよりを楽しく読ませてもらっています。筆者によって、その文章に個性が出ており、興味深く拝読させてもらっています。旅行記や催物記等々が多いのですが、自分も参加したような気になるのが不思議です。

●内藤尚(S33年卒60期)
卒業60年の同期会(三三会)に行つてきました。(10月3日・4日函館で開催されました)

●松村文俊(S33年卒60期)
いつも読んでいます。ありがとうございます。

●加藤紀興(S34年卒61期)
10月下旬函館に行きました。地震の影響で観光客が激減したと聞いていましたが、そろそろ外人客も目につくようになり、少しづつ復旧しているようで、何よりでした。

- 佐藤 穎(S34年卒61期)
第42回親睦大会今年も出掛けられず残念です。今後ともよろしく
お願い申し上げます。
- 宮島 暁美(S35年卒62期)
猛暑、台風、地震と大変なことばかり続いています。助け合いの気持ち
が大切だと思っております。皆様
のご多幸を祈っております!!
- 小林 嘉則(S36年卒63期)
会報ありがとうございます。以前
に較べると仲良しクラブの報告書
みたいな、読むところが少ないモノ
ですが懐かしく思う人にはそれで
良いのかも!? 沖縄は今県知事選
の真盛りでアベ政権ストップの合
言葉で闘っています。本土の空気
感になじめない状況にしばらくは
上京の機会はありませんが、皆さ
まによりよくお伝えを!!
- 嶋津 公男(S36年卒63期)
いつも「東京白楊だより」をありが
とうございます。11月3日は現在
住んでいる、この早通地区文化祭
があり、実行委員の一人として出
席せざるをえず。上京不可の為、
欠席します。
- 平間 須磨子(S36年卒63期)
日常的にすっかり頭から離れてい
る中部の高校時代、そして函館と
言うふるさと、これを感じ動のも
とによりがえらせてくれるのが、白楊
だよりです。まことにありがたい!
- 横井 修一(S36年卒63期)
64期卒(1年留年のため)ですが、
63期の同期会に参加させてもら
っています。
- 三谷 陽子(S36年卒63期)
東京白楊だより(Vol.41)の
表紙、雪の函館山、高田屋嘉兵衛
像に見とれました。
- 広瀬 貞子(S40年卒67期)
世界の国を旅して40ヶ国をこえま
した。健康に気をつけ、これから
いろんな国に挑戦して行きたいと
思っています。
- 今井 浩三(S41年卒68期)
幹事の皆様、ありがとうございます。
先約があり出席できません。皆様
お元気で過ごしてください。
- 田中 恵子(S41年卒68期)
思いがけない故郷の被災、何かし
ら力になりたいとは思いますが、
取敢えずは皆様お元気で。くれぐ
れもお元気で!!
- 長崎 憲一(S41年卒68期)
年相応に元気に暮らしています。
皆様によろしく。
- 瀬戸 武一(S42年卒69期)
生きていることを楽しみ積み重ね
るのが生きる意味かと感じていま
す。半面終活も考えなければネ
- 川村 哲雄(S44年卒71期)
平成30年度の同期会は6月16日
(土)に16年ぶりの「ニュートーキョ
ー桃杏楼銀座店」で、かつては「ユ
ートーキョー」「ミューン」のマネー
ジャーをして昨年に亡くなった相
馬篤君を追悼して、総勢19名で実
施しました。「ニュートーキョー」ビヤ
- 古川 哲朗(S44年卒71期)
何かと行事が重なり、出席できな
いことがあります。元
気な間は行事が重ならない限り
参加しますので、よろしく願いま
す。
- 国枝 孝義(S46年卒73期)
本年4月から、個人事業主として
活動を始めました。ソニー時代の
部下が仕事を回してくれています。
もう少し今の状態で働こうと思っ
ております。皆様にはご健勝であ
られますことを祈念しております。
- 林 誠之介(S48年卒75期)
神奈川県教育委員会を退職し、
現在大学で教職を目指す学生を
指導しています。
- 菊地 恵子(S48年卒75期)
ご案内、おたより、ありがとうございます。
- 平澤 博(S49年卒76期)
不良会員で申し訳ありません。ト
ンネルを掘ったり、競馬場のコース
を作ったりしました。
- 町原 秀臣(S49年卒76期)
増田、キンタ、東、ロボ、小川、田中、
吉岡、みんな元気かい?そして白
川、応援しているぜ!!
- 土谷 一彦(S52年卒79期)
東京での単身赴任が15年で終わ
り、今は自宅のある滋賀県にいま
す。しばらく東京支部会員を続け
させて下さい。関西の同窓会もあ
るらしいですが、連絡先わかりま
せんし:
- 山形 リサ(H4年卒94期)
とても楽しみにしていましたが、4
日の演奏会の準備のため、今年は
欠席いたします。また来年を楽し
みにしています。
- 安間 展(H6年卒96期)
何とか元気にやっております。
- 山形 夕佳(うぐみ)(H8年卒
98期)
年に一度の諸先輩、後輩達との再
会を今年こそは!と願っております
が、今度もコンサートシーズン真
つ只中の為、叶いませんでした。10/
14(日)は栃木県小山市にて、明大
マングラさんと共演です。皆様のご
健康をお祈り申し上げます。
- 宮崎 麻美(H26年卒116期)
3月に大学を卒業し、4月から地
元で就職しました。
- 寫谷 康平(H28年卒118期)
学校祭のため欠席します。
- 前田 愛(H29年卒119期)
学祭日と重なったため出席できま
せん。
- 狩野 修吾(H30年卒120期)
息子は日体大(世田谷)で勉強、
クラブ、バイト等フル活動で頑張
っております。今後、白楊東京支部
の発展と交流を期待しております。

89期 やりますよ!!

日時 11月9日(土) 12時~
場所 ホテルグランドアーク半蔵門

☑ 連絡先 (汐見)

shiomi.kazuhito@grace.ocn.ne.jp
kazuhito.shiomi@ezweb.ne.jp

キッコリーズ
(89期の池田靖司
くん)のミニコンサ
ートもあるよ

二次会も予定
しているの、
皆来てね。

90期も来て
ね。次は私た
ちだよ!!



ポプラ会 第46回・第47回ゴルフコンペ

ポプラ会ゴルフコンペは、白楊が丘同窓会の会員でゴルフをされる方はどなたでも参加できるものです。会員の皆様からのご要望があり、ここ数年は、春～夏と秋～冬の年2回開催しております。2018年秋冬の第46回および2019年春夏の第47回の結果を報告致します。いずれも、個人戦を新ペリア方式で競い合いました。

第46回 ポプラ会ゴルフコンペ



日時:2018年11月26日(月)
ゴルフ場:浦和ゴルフ倶楽部
参加者:13名

優勝 67期 安田 康次氏
2位 72期 佐藤 禎子氏
3位 62期 大味 勲氏

晴天に恵まれ、秋のたいへん爽やかな気候のなかでプレーすることができました。

第47回 ポプラ会ゴルフコンペ



日時:2019年6月3日(月)
ゴルフ場:浦和ゴルフ倶楽部
参加者:7名

優勝 67期 安田 康次氏
2位 72期 佐藤 禎子氏
3位 64期 上田 健司氏

常連の数名の方が欠場ながら、梅雨入り前の晴天に恵まれた会でした。

次回は、秋～冬の会として、11月下旬～12月上旬頃に開催予定です。参加ご希望の皆さまは、ぜひ、同窓会事務局までご連絡ください。あわせて一緒にゴルフ幹事をやっていただける方を募集しています！

東京臥牛会第5回ゴルフコンペ

在京の函館市内の公立高校5校（中部高校、西高校、東高校、函館商業高校、函館工業高校）の構成会員の親睦を図ることを目的として、2015年から個人戦によるゴルフコンペが行われています。今回は次のとおり中部高校が幹事校で開催されました。

第5回 臥牛会ゴルフコンペ



日時:2019年4月15日(月)
ゴルフ場:紫カントリークラブ
あやめコース
参加者:30名(中部参加者6名)

他校の方も含まれますので、成績の公表は省略致します。幹事校は持ち回りで、毎年、春に開催され、次回は東高校が幹事校となります。引き続き多数の皆様のご参加を期待いたします。

白川 正広（第76期）記

第68期の白崎淳一郎氏 出版のお知らせ

「もう準備はお済みですか？

JIS Q45001・JIS Q45100 対応マニュアル
～初めて部下を持つリーダーのための指南書～

白崎淳一郎著

2019年3月28日

労働調査会出版局発行

定価3,000円+消費税



白崎淳一郎氏

労働基準監督官として32年勤務。4箇所の労働基準監督署長を務め、9年間の中央労働災害防止協会東京安全衛生教育センターの専任講師のご経験。

第68期の白崎淳一郎氏の新しい出版物のご紹介です。皆さんの企業では、新入社員の採用や、少子高齢化で高齢者の継続雇用にも力を入れざるを得ないかもしれません。労働力が貴重である現在、それを労働災害で失うことは企業の存亡に関わることになりかねません。

2019年7月からJISQ45001とJISQ45100という労働安全マネジメントシステム（国家規格）が施行されました。鋳工業の業種が主な対象であったJIS規格がサービス業、IT、第3次産業等も含めすべての産業に適用されることになりました。この本は、それを踏まえ部下を持った人を対象にリーダーシップの取り方について書いたものです。

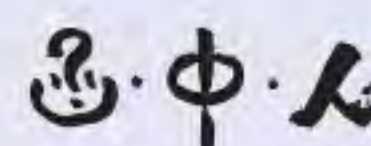
函館市副市長就任のお知らせ

新任副市長として本校卒業生の谷口 諭氏（80期）、平井 尚子氏（82期）が就任されました。なお、平井尚子氏は函館市初の女性副市長です。

写真・原稿 募集！

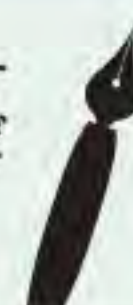


函館の写真募集中！



募集！自薦他薦問わず

随想 募集します
伝えたいことなど
1000字程度で
お送りください



広告募集 1マス¥5000円
4マス¥20000円

お問合せは事務局まで → kancyujp@yahoo.co.jp

2018年度収支実績および
2019年度予算 (単位:円)

		2018実績	2019予算
収 入	年会費収入	1,551,000	1,550,000
	大会費収入	1,352,000	1,400,000
	寄付金収入	259,130	270,000
	会報広告収入	70,000	70,000
	その他	1	0
	合 計	3,232,131	3,290,000
支 出	大会関連費用	1,469,506	1,500,000
	会報関連費用	819,673	835,000
	その他事業	59,116	110,000
	諸会議費	246,652	245,000
	通信運搬費	184,368	185,000
	本部派遣費	126,138	135,000
	その他運営費	249,347	260,000
	予備費	0	20,000
	合 計	3,154,800	3,290,000
	差引収支残	77,331	0
	次期繰越剰余金	5,150,411	5,150,411

日時:2019年4月23日(火) 18:45~19:30 出席者:26名
場所:インテリジェントロビー・ルコ D2会議室(新宿区揚場町)

白川支部長の挨拶の後、以下の議案につき配布資料に基づいて審議が行われ、全議案とも承認された。

(1) 2018年度事業報告

親睦大会、新人歓迎会、東京白楊だよりの発行、ICTを活用した東京支部の情報発信機能の充実、渉外活動、総務の各項目について報告と質疑が行われた。

(2) 2018年度収支決算報告

差引収支残は77,331円(対前年+193,162)の黒字となった。また、真船監事より監査の結果、収支決算書が正しいことを確認したとの報告があった。

(3) 2019年度事業計画案

親睦大会、東京白楊だより、支部活動の活性化他6項目に関する事業計画案。今年度親睦大会は89期が幹事となり、グランドアーク半蔵門を会場に企画検討中。

(4) 2019年度収支予算案

昨年度の収入・支出額それぞれの実績を参考に、親睦大会収入の増額と諸経費の節減を織り込み、収入支出とも329万円の予算とする。

(5) 役員の選任及び異動の件

89期汐見和人氏を新たに理事として選任。これまで評議員としてご貢献いただいた45期田沼修司氏、60期上平慶一氏、62期池田長氏が退任。また、新たに評議員として60期水江彰一氏、62期幅敏暢氏、89期汐見和人氏の就任が報告された。

引き続き、同会場において会費制で懇親会を実施した。

垣坂清(78期) 記

年会費・ご寄付のお支払いが便利に!

白楊ヶ丘同窓会東京支部は、会員の皆様からお支払いいただく年会費やご寄付により運営されております。
年会費は3000円となっております。どうぞご協力をお願いいたします。

従来、年会費、ご寄付のお支払いは会報に同封のゆうちょ銀行の「払込取扱票」でお願いしておりますが、「郵便局に行く時間がない」「インターネットバンキングで振込みたい」等のお声をいただき、新たに以下の3行にも口座を開設いたしました。お振込みの際には、下記の注意事項をよくお読みの上、ぜひご利用ください。(会計担当 第71期 加納 元雄)

① 銀行口座名称:「白楊ヶ丘同窓会東京支部」

みずほ銀行 溝口支店 普通 2712051
三井住友銀行 鎌倉支店 普通 0202759
三菱UFJ銀行 用賀出張所 普通 0107761
ゆうちょ銀行 〇一九(ゼロイチキュー)店 当座 0124291

② 振込人氏名欄はスペースを空けずに、「期→卒年→氏名」の順でご記入ください。
例:71S44カノウモトオ

③ 振込手数料が必要な場合は、振込人負担でお願いいたします。

ご寄付御礼

昨年度は29名の方からご寄付を頂戴いたしました。ここにお名前を掲載し、御礼に代えさせていただきます。

43期 葛西善一郎	53期 加藤惇曠	57期 小竹(滝田)嘉子/	59期 新田正勝
45期 宝田穎一郎	54期 及能正男/種田忠夫/	鈴木(服部)幸子	64期 二宮(清水)信子
46期 多和田昭二/	後藤泰雄	58期 永野巖/八鍬義郎/	69期 森田廣一
渡辺保二/白幡匡	55期 加藤富蔵	広田洋吉/川崎洋子/	85期 細谷雅彦/柳川清尊
47期 堀田善和	56期 津田恭一/大西孝司/	唐沢(藪崎)フミ子/	
49・50期 下河原修	南卓夫/原口(槻)久江	山本善治	(敬称略)

*69期 安藤牧子様(札幌支部副支部長)から、一昨年41回親睦大会にて熊本地震復興支援としてボタニカルアートの「一筆箋とクリアファイル」を販売していただきました。収益から1万円のご寄付を大会収入として計上いたしました。

白楊ヶ丘同窓会 東京支部 第43回親睦大会のご案内

とき 2019年11月9日(土) 13:00開演 (12:30~受付開始 15:30終了予定)

ところ グランドアーク半蔵門 **参加費** 8000円 学生無料 (ただし年会費3,000円納入者のみ適用・当日会場での納入可)



グランドアーク半蔵門 ご案内

〒102-0092 東京都千代田区隼町1番1号 tel.03-3288-1628

ACCESS

- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」1番出口より徒歩2分
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」3b出口より徒歩3分
※3b出口はエスカレーター部分が1番出口より長く、荷物がある場合に便利です
- ・東京メトロ半蔵門線「半蔵門駅」駅エレベーターより徒歩7分
- ・東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩7分
- ・JR「四ツ谷駅」より徒歩15分
- ・東京駅(丸の内南口タクシー乗り場)よりタクシーにて約10分

詳しくは … <http://www.grandarc.com/>

出演者紹介



キッコリーズ

札幌を中心に活動するアコースティックユニット。
2003年、ボーカル、のこぎり担当の力ポウを中心に結成。
北海道の風景を彷彿とさせる、おほかで美しいサウンドで、さまざまなジャンルの曲を演奏する。
幼稚園から高齢者向け施設まで、カフェから酒場まで、場所や年齢層を問わず広く愛される北海道のスタンダード。

2013年、結成10周年を迎え、札幌の音楽仲間たちとオリジナルアルバム「てあてのうた」を発表。
それぞれのメンバーがさまざまなユニットで活躍する実力派ユニット。

members

力ポウ (ボーカル、のこぎり、ウクレレ、パーカッション)
池田靖司 (89期) (ギター、バンジョー、マンドリン、コーラス)
鈴木裕 (バイオリン、ギター、コーラス)

白楊ヶ丘同窓会東京支部の皆様、毎年恒例ではありますが、令和となつて初の親睦大会のお知らせです。
会場は今年も、皇居の杜を臨むホテル「グランドアーク半蔵門」です。
イベントの企画、運営担当は、東京支部理事会のメンバーの方々と共に、昭和62年卒業の第89期が務めさせていただきます。
当日は大先輩から最近の卒業生までが、故郷の話や学生時代の話、近況など大いに語らい、親睦を深めていただければ幸いです。
皆さん、日ごろ音楽に触れる機会はあると思いますが、「のこぎり」で奏でる音楽を聴いたことがありますか？そう、木を切る「のこぎり」が音楽になるのです。堅苦しいことは考えなくて結構です。心地よい音をご堪能ください。
今年は札幌を中心に活動する「キッコリーズ」を招いてのミニコンサート企画いたしました。
「キッコリーズ」のギターを務めるのは、今年幹事期を務める89期の同期生、池田靖司さんです。今回、親睦大会の企画検討にあたり、是非やらせて欲しいと快諾いただきました。
北海道の風景を彷彿とさせる、おほかで美しいサウンドを奏でるキッコリーズのミニコンサートで、心の北海道旅行をお楽しみください。
故郷を思い、気心の知れた仲間と、美味しいお酒と音楽で笑顔あふれる親睦大会にいたしましょう。
是非是非、皆さまお誘いあわせの上お集まりください。(幹事一同)

編集後記

編集委員に新しい人が加わり、内容充実の会報が完成しました。これまでも、その時々「新人」が誌面の刷新に挑戦し、新鮮さが保たれてきましたが、是非この「伝統を守らない」伝統を、繋いでいくて欲しいものです。
(加納元雄 71期)

帰省時、空港から函工裏にある実家まで毎回徒歩で帰宅している。故郷の風、匂いを五感で感じ生き返るのだ。滞在中も徒歩で一日15キロは歩く。焼けていく故郷を肌で感じるのは寂しいものだが、歩くことで皆さんのインスピレーションを得ていると感ずる。故郷函館に感謝。
(荒谷修司 87期)

今回、編集をお手伝いするなかで驚いたのは、私の在学当時(1982~84)とは校舎が大きく変わっていたこと。在学中に多目的生徒ホールがあったらよかったのに！
(鹿毛正之 87期)

今年から87期の荒谷さん鹿毛さんに編集参加して頂き新しい企画「なるほど！ the TUBU」も加わりました。将来のウェブ化を見据えて、より楽しい会報を目指します。
(山田朗 73期)

2ページ写真：沖崎剛 69期

函館の写真募集中！

事務局までお送りください。

kancyu.jp@yahoo.co.jp

「白楊ヶ丘同窓会東京支部ウェブサイト」のURLが変わりました。新しいURLは、<http://kanchu.tokyo>です

